

広報

あさひ



7

2013

朝日町役場 □ 〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎0765-83-1100

夏、
本番！

水しぶきが
恋しい季節、到来！
—あさひ野小学校 プール掃除—



CONTENTS

今、パークゴルフが熱い！	2
町民総ぐるみ清掃デー	7
朝日町職員を募集します	16
館藏品展 竹久夢二「小粋」展	17

今、パークゴルフが

熱い!!



人生をより健康で、心豊かなライフスタイルをつくる生涯スポーツとして、また、健康づくりとコミュニケーションの場として、パークゴルフの人気は全国的に高まっています。

パークゴルフは、今、健康志向の高まりだけでなく、地域活性化の起爆剤として注目されています。

今回は、あさひヒスイ海岸パークゴルフ場とパークゴルフの魅力について紹介します。

パークゴルフのあるライフスタイル 〜パークゴルフ愛好家の皆さんの声〜

【上市町在住の パークゴルフ愛好家】

パークゴルフを始めて5年。県内のいろんなパークゴルフ場をまわっていますが、ここが一番好きです。コースの状態、長さ、幅がとてもよくプレーしやすい環境ですね。

パークゴルフは、上手になるうと思っやっっているのではなく、すべては健康のため、人生を楽しむためにやっています。体を動かすだけでなく、口も一生懸命に動かしています(笑)。よく歩き、よくしゃべり、たくさん汗をかくことができるスポーツ。それがパークゴルフの魅力です。



【糸魚川市在住の パークゴルフ愛好家】



パークゴルフ歴は2年。70歳も半ば、何かできるスポーツがないか探していた時に出会ったのがパークゴルフです。「手軽で、健康にもよい」ということが一番の魅力でした。

今では、天候がよければ、毎日プレーをしに來ています。パークゴルフを始めたことで、生活のリズムがよくなり、私の生活にはなくてはならない存在になっています。

豊かな自然の中、気持ちよくプレーできるので、このパークゴルフ場がとても好きです。また、パークゴルフを通してたくさんの人とつながることができるのも魅力の一つですね。

●あさひヒスイ海岸 パークゴルフ場の概要

- ・「うみひこコース」と「やまひこコース」の2コースがあります。(18ホール)
- ・国際パークゴルフ協会の認定コースです。
- ・プレー時間は、午前9時から午後5時。定休日は木曜です。

●パークゴルフのルール

- ・基本的にはゴルフと同じです。ボールをクラブで打ち、コースに空けられた穴(カップ)に、いかに少ない打数で入れるかを競うゲームです。
- ・4人以内でひとつのグループになり、1コース(9ホール)を一緒にまわります。
- ・スコアは自分でジャッジする自己申告の競技です。



●パークゴルフをするときは

- ・動きやすい服装や日差しをよける帽子などを着用しましょう。
- ・芝生を傷つけないような運動靴でプレーしましょう。
- ・気分が悪くなったときは、無理をせず、休憩をとりましょう。
- ・水分補給をこまめに行いましょう。

●パークゴルフがもたらすもの

平成22年10月にオープンした「あさひヒスイ海岸パークゴルフ場」。子どもから高齢者まで、誰もが身近なスポーツとして、また、手軽にできる三世代スポーツとして人気を集めています。利用者は年々増加しており、現在の延べ利用者はおよそ1万8千人となっています。

パークゴルフが健康にもたらす効果は、全国的にも認知されてきており、健康維持や生活スタイルの変化、生きがいづくりなど、あらゆる面で注目されています。健康志向の高まりは、医療費の削減に、新たなコミュニティの形成は、地域の活性化に、つながるのではないのでしょうか。

パークゴルフは、人と人をつなぐだけでなく、人と地域をつなぐ大きな役割を担うスポーツとなっています。

管理員 西田真佐夫さん



連日、町内外から多くの方がプレーをしに來ています。一日平均100人。コースの状態は、県下でもトップクラスであると思います。また、周辺施設も充実しており、地域の活性化にもつながっているのではないのでしょうか。

初心者の方でも気軽にプレーを楽しむことができますので、多くの方のご来場をお待ちしています。



●パークゴルフを 楽しもう!

パークゴルフをしている人々の表情は笑顔に満ち溢れています。

プレーを楽しむだけでなく、出会いの場、憩いの場として町内外から多くのパークゴルフ愛好家の皆さんが、あさひヒスイ海岸パークゴルフ場に集っています。

今、愛好家たちの中では「パークゴルフを軸とした新しいライフスタイル」が確立されてきています。パークゴルフを通して、絆を深め、交流の輪を広げてみませんか。



70代男性

パークゴルフの大会に出場することで、他の地域の方と交流を深めることができました。



60代女性

病院の先生から、運動をするようにと言われウォーキングを始めたが長続きしなかった。パークゴルフは、会話を楽しみながらプレーできるので長続きしています。



60代男性

健康のために続けている。上手な人と一緒にプレーすると、若い頃持っていた競争心が芽生え、自分も上手になりたいと必死に練習しています。

●問い合わせ

あさひヒスイ海岸パークゴルフ場
(☎82-1189)



ビーチボールのチカラ vol.4

～歴史×魅力×技術＝ビーチボールマスター～

「翡翠カップビーチボール全国大会」は今年、第20回大会を迎えます。

出場チーム紹介

20回の節目を迎えるこの大会には、これまでで最多の10都県30市区町から116チーム589名の選手が参加します。

朝日町からは男子の部に9チーム、女子の部に12チーム参加。

この中で、男子70歳以上の部に出場する『いいいち』と、女子60歳以上の部に参加する『あかね』は、第1回大会から20年連続で出場しています。

今回は、男子70歳以上の部に出場する『いいいち』の方々のインタビューを掲載します。



▲「いいいち」の皆さん

Q. 20年連続出場について
5、6、9回大会で優勝。年齢とともに、チームの目標は、「勝つこと」から「楽しむこと」へ変化してきました。これまで続けてこられたのも、仲間がいてこそだと思います。

今大会は初めて70歳以上の部に出場します。どの程度の試合ができるか、とても楽しみです。チーム一丸となつてがんばります。

☆記念イベントについての詳細は、広報と同時に配布したチラシをご覧ください。

問い合わせ サンリーナ
(☎83-1838)

Q. ビーチボールの魅力
「ビーチボール親睦」これがチームのモットーです。和を大切に、みんなで楽しみながら練習に励んでいます。

昔は、練習をして汗をかき、その後みんなで「いいいち」を楽しむ「親睦会」をよく開催していました。

最近では、それぞれの都合もあり、なかなか開催できていませんが、ぜひ、復活させたいと思っています。親睦を深め、楽しむことがビーチボールを長く続ける秘訣だと思っています。

広報 de ほっこりマルシェ

～つながる、つなげる あさひの宝～

マルシェ：フランス語で「市場」という意味



かわむら
河村ひなちゃん
月山の河村雄太郎・
春菜さん夫妻の長女
(平成23年6月27日生)



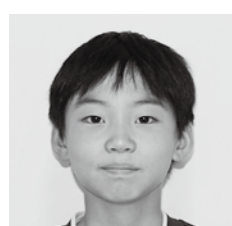
かなざわのの
金澤希羽ちゃん
桜町の金澤大・
里沙さん夫妻の長女
(平成20年11月22日生)

うちの元気印



さどこうしん
佐渡巨真くん(桜町)
さみさと小学校6年

ほとくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。今、少年野球のスポーツ少年団(泊サンフラワーズ)がとても楽しいです。夢を叶えるため、素振りなどの基礎練習を毎日必ず行い、チャンスに強くなりたくです。



かわむら
河村楽くん(平柳2区)
さみさと小学校6年

夢に向かって羽ばたけ！未来の主役たち

ほとくの将来の夢は、パティシエになることです。理由は、おいしいお菓子を作って、たくさんの人に喜んでもらいたいと思ったからです。自分のお店を持ち、その店を繁盛させたいです。夢を叶えるため、味の研究などをがんばりたいと思います。



じょうふせいや
上聖哉くん(越)
あさひ野小学校6年

ほとくの将来の夢は、柔道選手になることです。理由は、オリンピックで柔道の試合をテレビで見て、自分もあの舞台に立ちたいと思ったからです。中学校では、柔道部に入り、多くの大会で優勝できるよう、どんな練習もやり遂げていきたいです。



のがわもも
野川萌々さん(西町)
さみさと小学校6年

私の夢は、小説家になることです。理由は、以前読んだ小説がおもしろく、自分でもこんな物語を書きたいと思ったからです。自分の書いた小説で、たくさんの人に笑顔を与えることが目標です。たくさん努力して、夢を叶えたいです。



▲枝豆の種を植えました！

絵本を読んでいると…
Aちゃん「えーっ！なんや風きたん？」
保育士「突然、ヒューヒュー、ゴッって、強い風が吹いてきたんだって。」
Aちゃん「嵐、どうしてきたん？私嵐の相葉くん好きなが♥」
とにつこり。強い風が吹く嵐をアイドルの嵐と思い込んでいたAちゃんでした(笑)

保育士「池の水草を集めていると…その夜、嵐がやってきました。」

あのおのね

こどもたちのつづき

「おおきくなれ！」(4・5歳児)
5月に老人会の方々と一緒に植えた野菜の苗。毎日、成長を楽しみにしながら、水やりをしています。

保育士「おおきくなれとか元気に育つてね、って声かけながらお水をあげたら、おおきくなるかな。」

Bちゃん「そやわ！おおきくなれ！」
Cちゃん「おおきくなれ！」
Dちゃん「おいしくなれ。」

今から収穫して食べるのを、楽しみにしているようです。

「まだかな」(4・5歳児)
金魚に夢中の子どもたち。図鑑を見ながら調べていると…
保育士「金魚って、まぶたないんだって。」
Eちゃん「えーっ！寝るときはどうするかな？」
保育士「ほんとやねー寝ないのかな。」
Fちゃん「お布団で寝るんやよ！」
子どもたち「そうなん!!」
Fちゃん「ん。葉っぱのお布団！」
Gちゃん「石をまくらにして寝るんじゃない!」
子どもたち「絶対そうやわ。見てくる！」
水そうに熱い視線をおくる子どもたち。想像はふくらむばかりです。